

背景

- ・ 吹田市・吹田市医師会と連携し、長期の追跡調査（コホート研究、吹田研究）を実施し、その成果は我が国の循環器病予防対策の科学的根拠として広く活用
- ・ 対象者の高齢化などに加え、日本人の生活習慣や社会環境が劇的な変化、診断治療技術の急速な進歩など、これまでの研究だけでは、十分対応できない
- ・ 従来の研究のノウハウを用い、吹田市・摂津市において循環器疾患制圧に資する新コホート研究が必要

目的

新規性と科学性の高い都市部コホート研究として実施し、我が国の循環器疾患を含む**健康障害にかかわる疾患の予防において有用な知見を創出し、国民の健康寿命の延伸に貢献**

対象者と調査方法（案）

- (1) 吹田・摂津市民（40～64歳）5000人を対象
- (2) 住民基本台帳等から性年齢階級別に無作為抽出
- (3) ベースライン調査は、1000名/年ずつ健診と研究調査を行い、5年程度で一巡
- (4) 追跡調査として、
 - ① 5年毎の国循での健診と研究調査
 - ② 郵送・電話による調査
 - ③ 発症時の受診病院のカルテ閲覧・情報提供
 - ④ 追跡不能時の住民票請求や住民基本台帳の閲覧

今後の予定

2017年度

- ・ワーキンググループの設置
- ・関係団体への周知
- ・研究計画案の作成 など

2018年度

- ・研究計画の確定

2019年度

- ・新センター開設
- ・研究協力者の募集（10月以降）

2020年度

- ・調査開始（5月～）